

多気町立佐奈小学校



スギとヒノキの違いを比べている様子



作業の仕方を真剣に聞く子どもたち



黙々とサンドペーパーで角をとっている子どもたち



完成した箸

## ねらい

- ・自分たちの生活の中で、身近なところに使われている木について知る
- ・木の製品を使うことで、森林の整備につながり、緑の循環を通して持続可能な社会の実現につながることを学ぶ
- ・箸作りを通じて、木製品の良さを知る

## 取組内容

- ・生活の中で使われている木材について代表的なスギやヒノキの話を中心に、林業や山と木の仕事の話、森の働きなどの学習をしました。
- ・サンドペーパーの使い方やノコギリの使い方を教えてもらい、それぞれスギとヒノキで箸作りをしました。また仕上がったものに、蜜蝋を塗る作業をし、完成させました。
- ・木材の輪切りをみて、年輪の数はどれくらいかをあてる活動（樹齢を知る。）をしました。

内容	・木と森の話 ・箸作り
時間	1 時間 30 分（総合的な学習の時間）
場所	体育館
対象	5 年生 14 人 6 年生 16 人
講師	森のせんせい：宮川森林組合
備考	みえ森づくりサポートセンターによる森林環境教育・木育出前授業

【先生のコメント】 工作の時間では、丁寧にやすりをかける作業を黙々と行なう姿があり、熱中していました。箸の長さの調節では、どのくらいの長さにするのか班の子たちと相談し合い、友だち同士で活動する様子が見られ良かったです。